

第69回通信陸上大会 競技注意事項

1 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。競技規定 TR16 により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

2 トラック競技の予選で、決勝に進出する資格を得る競技者は、着順またはタイムによって決定する。同タイムによって決勝進出競技者が、規定人数を越える場合は抽選で決定する。(タイムは1/1000秒差までを確認する)

長距離種目は、1年男子1500m、2年男子1500m、1年女子800mは着順どりの予選とし、1～2年男子1500mは15名、1年女子800mは12名が決勝に進出する資格を得るものとする。

また、共通男子800m、共通男子3000m、2・3年女子800m、共通女子1500mは、タイム予選とし、共通男子800mは8名、2・3年女子800mは8名、共通女子1500mは15名、共通男子3000mは18名が決勝に進出する資格を得るものとする。

さらに、3年男子1500mについては、今年度はタイム決勝とする。

3 A、B決勝を行う種目について、A決勝レースのみを8位入賞の対象とする。

4 本競技場は全天候型なので、競技に使用するスパイクピンは全天候型のものとし、9mm以下のものを使用すること。(走高跳は12mm以下とする。)

5 競技用シューズの扱いについて

① 今大会における競技用シューズに関する規定は右図のように扱う。

区分	種目	厚さ
T	800m未満(ハードル)	20mm以内
T	800m以上	25mm以内
F	跳躍・投てき	20mm以内

② ただし、今大会においては、投てき競技のみ、競技用シューズの扱いをTR5.5規定の適用除外措置とする。
(投てきの競技者については、20mm以上の厚さの靴も可となります。)

6 ハードルの高さおよびインターバル、砲丸・円盤の重さは次のとおりとする。

男子110mH 高さ 91.4cm インターバル 9.14m

女子100mH 高さ 76.2cm インターバル 8.00m

男子砲丸投(5.0kg) 男子四種競技砲丸投(4.0kg)

女子砲丸投(2.721kg) 女子四種競技砲丸投(2.721kg)

男子円盤投(1.5kg) 女子円盤投(1.0kg)

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

共通男子走高跳 1m45-50-55-60-65-70-73以後3cmずつ(練習は1m45と1m60)

共通男子四種競技 1m25-30-35-40-45-50-55以後3cmずつ(練習は1m25と1m40)

共通女子走高跳 1m25-30-35-40-45-48以後3cmずつ(練習は1m25と40)

共通女子四種競技 1m20-25-30-35以後3cmずつ(練習は1m20と30)

共通男子棒高跳 2m00-20-40-60-80-3m00…以上10cmずつ

共通女子棒高跳 競技開始の高さ並びにバーのあげ方については、競技者と審判員との競技の上、決定し競技を始める。

8 走幅跳は次の距離より計測する。

男子 5m30, 女子 4m20

9 砲丸投は次の距離より計測する。

男子 8m00, 女子 8m00

10 円盤投は計測ラインを設けない。

11 四種競技の砲丸投の試技は3回までとする。

12 フィールド種目の試技は、開始の合図から1分以内に試技を始めなければならない。

13 競技者は、学校(チーム)名のアスリートビブスを胸背部に正しく付けること。(走高跳・走幅跳・棒高跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。)アスリートビブスのない競技者は出場できない。

トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取り、パンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はゴール地点で役員に返却すること。

共通男子3000m（胸背部）、男女1500mでは（胸部）別に数字のアスリートビブスを使用する。競技終了後は、ゴール地点で役員に返却すること。

14 競技のレーン順、試技順は、プログラムに記載されている順とする。決勝のレーン順は、番組編成の際、本部で行う。

15 招集について

① **招集は、すべて第4コーナーゲート付近で行う。**

② 招集開始時刻・完了時刻は、プログラムに記載されている通りとする。

③ 選手は招集開始時刻から完了時刻までに招集所に集合すること。

リレーのオーダー用紙提出は予選・決勝ともにルールにより、各ラウンドの第1組目の招集時刻の1時間前までに招集所に提出すること。提出が遅れた場合は失格となる。なお、エントリーした6名以外の選手が走る場合にも、プログラムを参照し、該当選手名やページを記入し競技者係に提出する。オーダー用紙は、学校受付並びに招集場に用意する。

また、二種目出場する場合に招集時刻が重なる場合などは、二種目同時届を提出すること。

④ 二種目同時届けを提出して二種目に出場し、競技時間が重なる場合、トラック種目やフィールド種目のそれぞれの競技進行やラウンドを選手各自が会場内の動きを見て把握し、各自の判断で招集や競技場所への移動を行うこと。

⑤ 二種目同時届けは、あくまで招集時の配慮であり、各競技の進行に対する配慮ではありません。トラック競技にも出場する一方で、例えば、もう一つの種目であるフィールド競技の場所にもどって来た際に、その競技は、次のラウンドが始まっている場合もあることを理解した上で競技に臨むこと。

⑥ 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、リレー競技を兼ねて出場する選手で、リレーの招集時刻に競技中で、招集に行けない場合は、同じチームの者がその旨を競技者係に伝えること。

⑦ 招集を受けていない競技者は棄権とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には、点呼を受ける競技者以外入らないこと。

⑧ 競技を棄権する場合、予選・決勝を問わず棄権届け（陸協指定の用紙）を競技者係に提出すること。用紙は招集所に用意する。

16 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできない。違反している場合は「商標隠テープ」を貼り処置する。

17 トラック競技のゴール後は、最寄りのゲートより退場すること。（係の誘導・指示を聞くこと）

18 補助競技場には学校からの練習用具の持ち込みはできない。また、ハードルは会場に設置してあるものを共用して使うこと。

19 記録の発表は、正面玄関ロビー付近にて掲示・発表する。

20 表彰は、各種目の8位まで（リレーも8位まで）の入賞（チーム）者に表彰状を授与するので、競技終了後、順位が確定したら、すみやかに正面ロビーに集合すること。

21 **男女の4×100mRについては、本大会の優勝チーム（学校単位チーム）が第50回全日本中学校陸上競技選手権大会の広島県代表チームとして権利を得ることができる。**

22 選手は、競技場内にスマホやタブレット端末などの電子機器を持ち込み、自身の動きなどを撮影して見るなどの行為はルールに反しますので、持ち込まないこと。スタンドから、保護者・友人などに撮影してもらいその撮影した電子機器を各競技ピット内で受け取り、画像や動画を見ることも同様です。気をつけてください。

第69回全日本中学生通信陸上競技広島県大会連絡事項

1 学校（チーム）受付及び役員受付

- (1) 学校（チーム）受付は、7：30～とし、引率者は必ず学校（チーム）受付をしてプログラムを受け取ること。
また、学校（チーム）受付終了後に、競技役員の受付をすませること。
学校（チーム）受付及び役員受付は、メインスタジアム正面玄関ロビーで行います。
- (2) 大会当日、各参加（チーム）校の引率者は、大会参加選手の健康観察を行い、「健康観察記録まとめ（様式1）」に1日ごとに記録し、確認しておくこと。（提出はしない）
- (3) 役員の打ち合わせ会を8：25より正面スタンド玄関入口前付近において行うので、競技役員は時間厳守で集合すること。
- (4) 開会式は、猛暑対策として簡略化して行います。開会式9：00～
（各種目の表彰は決勝終了後に準備でき次第行うのでアナウンスをよく聞いておいてください。）

2 競技役員について

- (1) 競技役員については、別紙競技役員構成一覧により運営しますが、欠席等により役員が不足するようなことがあれば引率の先生に競技役員をお願いすることもありますので、服装等については必ず留意しておいてください。
- (2) 競技役員は必ず役員受付を済ませること。なお、競技役員の服装は、男性は白の半袖カッターシャツかポロシャツにグレーのズボン、女性は白のブラウスカポロシャツにグレーか紺の服装でお願いします。ジャージは必ず避けること。
- (3) 競技役員は、その任務中は、任務に徹し、選手に対する助言、助力を行わないようにして、公正中立な立場で審判業務にあたること。

3 来場者（保護者〔同伴者〕）について

- (1) 今年度は、保護者（同伴者）の観戦に大きな規制はございませんが、観戦が可能なのは、正面スタンド、バックスタンドのみです。サイドスタンドは、両サイドの芝生スタンドは、参加校のテント等を張る場所としての利用は構いませんが、保護者の方のご観戦はご遠慮ください。
- (2) 卒業アルバムなどの写真撮影業者も8：45以降に受付で入場受付を行います。
（撮影業者として分かる腕章等をつけていただきます。）

4 正面スタンドの開場と場所取りについて（競技場の開門は両日とも7：00）

朝7：00の開門時の場所取りに並べる人数は、スタンド入口が狭く、混雑やけがを防ぐためにも、各チームとも少数の人数でお願いします。くれぐれも急いで場所取りをしようとしてけがや事故がないように、そして、場所を取る場所も必要以上に広く取ることをしないよう、多くの学校（チーム）が使えるように配慮願います。

- (1) 選手等の控え場所として、利用できるのは、(2)に示す3つの場所である。ただし、スタンドも日陰の場所やスタンド裏も場所がせまいので、できるだけ各学校（チーム）とも必要最小限のスペースで場所を確保するようにしてください。
（お互いに気持ちよく少しでも多くの学校（チーム）が待機できるようにお願いします。）
- (2) 場所取りをして良い場所（※1日ごとにシートなどは撤去してください。）
 - ① 正面スタンド、バックスタンドのスタンド席
 - ② 正面スタンド裏側の通路で通行の妨げにならない場所
 - ③ 第1・第2曲走路側の芝生スタンド内（テント設営可能）
※バックスタンド裏の雨天練習場周辺は、選手のウォーミングアップ場として使いますので、各チームなどのシートなどは敷けません。
- (3) 場所取り（テント設営）ができない場所
 - ① ラグビー場周辺
 - ② 南側のグラウンドと野球場周辺
 - ③ 雨天練習場の走路沿い（ここはウォーミングアップ場となります。）

5 駐車場について

- (1) 駐車場が非常に狭く、基本的に広島スタジアム内の駐車場は競技役員用とします。
- (2) バスやマイクロバスで送迎される学校（チーム）は、今大会では東側遊水池に誘導願います。
（当日の駐車場内の混乱を防ぐために）
- (3) 保護者も含めて競技場内駐車できない場合は、競技場南側の西・東遊水池に駐車をお願いします。

6 練習会場の使用について

- (1) 練習会場は、補助競技場並びに雨天練習場を使用すること。
なお、15日(土)の7:50~8:50と16日(日)の7:40~8:45までは、メインスタジアム内での練習も可能です。ただし、競技会場・各ピットの準備ができた後からの練習としますので、練習可能となりましたら放送で伝えます。

<メインスタジアムの朝の競技開始前の練習区分>

- 1~2レーン → 中長距離優先レーン
 - 3~6レーン → 短距離・リレー優先レーン（リレー練習は第2・第3コーナーで行う）
 - 7~8レーン → ハードル優先レーン（110mH: 8レーン、100mH: 7レーン）
- ※棒高跳以外のフィールド種目は、メイン競技場内では練習できません。

<補助競技場の練習区分> ※投てき練習はできません。

- 補助競技場は、土のグラウンドで、レーンが書いてありませんのでトラックは周回優先とし、動きづくりなどは、トラックにかかる部分ではしないようにしてください。直線のタータン部分では、ハードルとスタプロを設置しておきます。（トラックは逆走をしないこと）
 - トラック内の芝生部分は使用できません。
（メデイシンボールやゴム製などの練習用砲丸も含め、投てき練習は補助競技場内ではできない。）
 - 補助競技場でも、スターティングブロックおよびハードルを主催者で準備する。これらの練習用具は、学校（チーム）からの持ち込みをしないこと。
- (2) バックスタンド裏の雨天練習場は、第3コーナー側から第2コーナー側へ（南に向けて）の走行とし、逆走をしないようにお願いします。おもに流しなどで利用しコース内にハードルや私物を置かないようにしてください。

7 競技会場の使用について

- (1) 競技者は、それぞれ当日、招集所で指示を受けた経路に沿って、スタート地点や競技ピットに向かい、競技終了後も指示された経路、ゲートより退場すること。尚、正面スタンド前は通らないこと。
- (2) 競技者は、招集所で待機している時なども、できるだけ感染防止対策を各自でとること。
- (3) 短距離種目については、ゴール後はコースに沿ってカーブするよう事前に指導をお願いします。（選手同士の接触事故防止のため）

8 商標について（大まかに言うと名刺サイズ以上の大きさの商標は隠すことになります。）

- (1) 競技場内には以下の規定を満たしていない商標名の付いた衣類・バッグは持ち込みできない。特にバッグについては注意すること。（他のカバン、袋を準備するのが望ましい。）どうしても持ち込まなければならない場合や競技場内で発覚した場合は「商標隠テープ」を貼り処置をする。その処置によって持ち物が破損した場合、主催者は責任を負わない。

- ①上半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は40cm²以内とする。
- ②下半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積20cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のもの1ヶ所とする。
- ③バッグ…製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内のものとする。

※具体的な例は、別紙の「競技場内における広告・展示物等の規則について」の資料をご覧ください。

- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

6 その他

- (1) カメラ・ビデオでの撮影については、「撮影許可証」などの受付はありませんが、盗撮防止についての取り組みとして、撮影禁止エリアの設置や表示、スタンドの見回り、アナウンス等を行う予定です。生徒を通じて保護者へ周知をお願いします。
- (2) 保護者などが撮影された競技中の写真・映像などを、ネットの動画投稿サイトなどに掲載されることのないように周知徹底をお願いします。（すでに今年度も苦情が寄せられています。）